化学物質等安全データシート

１．化学物質等及び会社情報

法人名　：独立行政法人　産業技術総合研究所
住所　：茨城県つくば市梅園 1-1-1
担当部門　：計量標準総合センター　計量標準管理センター　標準物質認証管理室
担当者　：認証標準物質担当
電話番号　：029-861-4059　ファックス番号　：029-861-4009
緊急連絡電話番号　：同上

作成日　：2006 年 6 月 5 日
改正日　：2012 年 11 月 12 日
整理番号　：8113001

化学物質等の名称　：認証標準物質　NMIJ CRM 8113-a 重金属分析用 ABS 樹脂ペレット
（Cd, Cr, Hg, Pb；高濃度）
(Heavy metals (Cd, Cr, Hg, Pb) in ABS resin－high concentration pellet)

２．危険有害性情報の要約

ＧＨＳ分類：　発がん性　：区分 1A
生殖毒性　：区分 2

ＧＨＳラベル要素：

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：　生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
発がんのおそれ

注意書き：　［予防策］
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
経口摂取は有毒である。
［対応］
飲み込んだ場合大量の水を飲ませ吐かせる。医師の診断を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。
［保管］
直射日光の当たらない室温で清浄な場所に保存する。
施錠して保管すること。
［廃棄］
都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

３．組成、成分情報

単一製品　混合物の区別　　：単一製品
化学名　　：アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体
別名　　：ABS 樹脂
化学式又は構造式
　ただし、次の物質を含む
　・酸化カドミウム（CdO）　：含有量　89.8 mg/kg（Cd として）
　・($PbCrO_4$)　：含有量　905 mg/kg（Cr として）、905 mg/kg（Pb として）
　・硫化水銀（HgS）　：含有量　915 mg/kg（Hg として）
官報公示整理番号　　化審法：幹ポリマー(6)-720；(6)-134；枝ポリマー（6)-126
CAS 番号　　：9003-56-9
TSCA　　：有り
危険有害成分　　：酸化カドミウム、クロム酸鉛

４．応急措置

◇眼に入った場合
　1.清浄な水で十分に洗い流す。
　2.医師の診断を受ける。
◇皮膚に付着した場合
　1.清浄な水で十分に洗い流す。
　2.汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。
◇飲み込んだ場合
　1.水でよく口の中を洗浄する。
　2.医師に連絡する。

５．火災時の措置

消火剤　　：散水、二酸化炭素、ドライケミカル粉、耐アルコール、ポリマー泡。
火災時の特有危険有害性　　：燃焼ガスには一酸化炭素や NOx、CN などが含まれるので、可能な限り風上から消火を行い、吸入しないようにする。
特有の消火方法　　：火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護　　：防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴。

６．漏出時の措置

・漏出したものを掃き集めて、空容器に回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
・眼、皮膚、衣服への接触を避ける。

・作業中は飲食、喫煙をしない。
・取扱い後、十分に洗浄する。
・使用前に取扱説明書を入手すること。

保管
・褐色ガラス瓶に入れ、直射日光の当たらない室温で清浄な場所に保存する。
・施錠して保管すること。

８．暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項
設定されていない

許容濃度（酸化カドミウム）

・ACGIH　TLV-TWA（2000年）	:	0.01mg/m^3（Total dust/Particulate，Cdとして）
	:	0.002 mg/m^3（Respirable dust, Cdとして）
・日本産業衛生学会勧告値（1998年）	:	0.05 mg/m^3（Cdとして）
・OSHA PEL TWA	:	0.2 mg/m^3（Cdとして）

許容濃度（クロム酸鉛）

・ACGIH　TLV-TWA（2000年）	:	0.05 mg/m^3（Pbとして）
	:	0.012 mg/m^3（Crとして）
・日本産業衛生学会勧告値（1998年）	:	0.1 mg/m^3　（Pbとして）
	:	0.05 mg/m^3　（Crとして）

許容濃度（硫化水銀）

・ACGIH　TLV-TWA（2001年）	:	0.025mg/m^3（Hgとして）
・日本産業衛生学会勧告値（2001年）	:	0.025mg/m^3（Hgとして）

設備対策
◇貯蔵上の注意
・直射日光の当たらない室温で保管する。

保護具
・通常の取扱いでは、特に必要なし。

９．物理的及び化学的性質

・外観等	: 固体（粒状）
・色	: 茶褐色
・臭い	: データなし
・pH	: データなし
・密度	: 1.034 g/cm^3
・沸点	: データなし
・融点	: およそ200℃
・引火点	: データなし
・発火点	: データなし
・爆発範囲	: データなし
・溶解度	: 水に不溶

10. 安定性及び反応性

◇安定性
　1.通常の貯蔵、取扱いにおいて安定である。
◇反応性
　1.熱分解により、NOx、CN などが発生するおそれがある。
◇避けるべき条件
　　データなし
◇危険有害な分解生成物
　1.一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口（酸化カドミウム） マウス LD50：　72 mg/kg・ラット LD50：　72 mg/kg 経口（クロム酸鉛） マウス LD50：　>12 g/kg 経口（硫化水銀） データなし

12. 環境影響情報

分解性・濃縮性
・微生物等による分解性はない（酸化カドミウム）。
・微生物等による分解性はない。1～3%　(by BOD)　コイ　58～144倍　(2 mg / l)
　コイ　358～821倍　(0.2 mg / l)（デカブロモジフェニルエーテル）
生態蓄積性
・魚介類の体内において、濃縮性または蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。
　また、高濃縮性ではないと判断された物質。（酸化カドミウム）
・魚介類の体内において、濃縮性または蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。
　また、高濃縮性ではないと判断された物質。（デカブロモジフェニルエーテル）
生態毒性
・ヒメダカ　LC50/48H　＞500 mg / l（デカブロモジフェニルエーテル）

13. 廃棄上の注意

・都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号	：-
国連分類	：-
品名	：-
容器等級	：-
ICAO/IATA	：-
海洋汚染物質	：該当なし

注意事項　　　　：直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報

引用文献

・MSDS 対象物質全データ（改訂第２版）、化学工業日報社（2007）
・国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版、化学工業日報社（1992）
・化学品安全管理データブック　データセンター編、化学工業日報社（1993）
・１４３０３の化学商品、化学工業日報社（2003）
・危険物取扱必携（実務編）、全国危険物安全協会（2002）

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。